



伊藤小児科・内科医院 病児保育園

おひさまだより

令和3年5月1日発行

横手市婦気大堤字谷地添7-1 (伊藤小児科・内科医院敷地内)

TEL 0182-23-6477 (予約・キャンセル・お問合せ専用)

ホームページ <http://www.ohisama-itocl.net/>

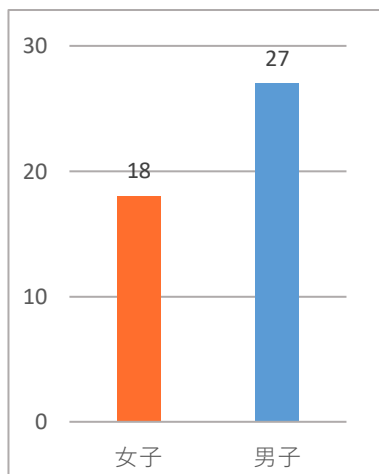


日差しがだんだんと暖くなり、過ごしやすい季節となりました。元気いっぱい遊んだ後は、手洗いうがいや汗の始末、水分補給をしっかりと行い健康に過ごせるよう見守っていきましょう。この時期は、朝夕の気温の変化が大きく体調を崩しやすくなるので、十分な休息や栄養をとり、体調管理に努めましょう。

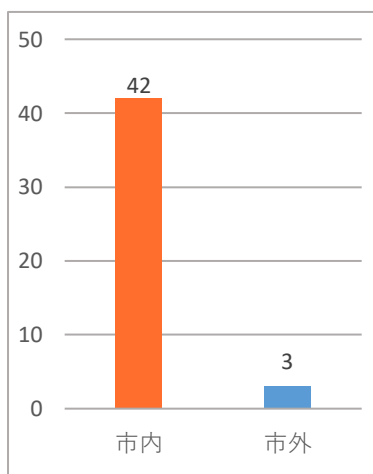
先月の病児保育園おひさまのご利用状況は以下の通りです。伊藤小児科・内科医院の感染症状況もあわせてお知らせいたしますので、どうぞご参考にしてください。

病児保育園おひさま 利用者状況 4月分

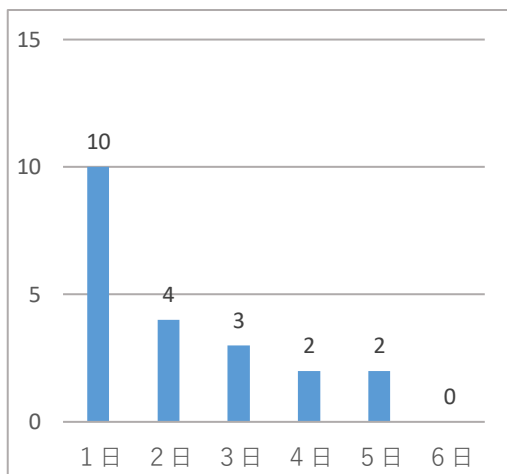
〈性別〉



〈住まい〉



〈連続利用日数〉



〈疾患名〉

	0歳児	1歳児	2歳児	年少	年中	年長	小学生	合計
風邪	0	12	5	7	0	4	0	28
便アデノウイルス	4	0	0	0	0	0	0	4
咽頭結膜熱	3	2	0	0	0	0	0	5
ノロウイルス	0	2	0	1	0	0	0	3
胃腸炎	0	0	2	0	0	0	0	2
家庭の都合	0	0	0	0	0	0	2	2
兄弟感染症の為	0	0	0	0	0	4	0	4
合計	7	16	7	8	0	8	2	48



※ 併発している疾患もすべて含む。

	第一週	第二週	第三週	第四週	第五週	合計
インフルエンザA	0	0	0	0	0	0
インフルエンザB	0	0	0	0	0	0
RSウイルス	0	0	0	1	0	1
咽頭結膜熱	3	0	2	3	9	17
溶連菌感染症	1	2	4	2	4	13
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0
便アデノウイルス	0	0	2	2	1	5
ノロウイルス	4	4	6	8	15	37
ロタウイルス	0	2	0	0	0	2
ヒトメタニューモウイルス	0	0	0	0	0	0
合計	8	8	14	16	29	75



おひさま看護師から



《鼻血が出たときのホームケア》

子どもの鼻血の多くは「鼻ほじり」で起きます。風邪やアレルギー性鼻炎などの理由で鼻の中がかゆくなり鼻をほじりたくなります。

<鼻血の止め方4つのポイント>

①落ち着いて対応しましょう

優しく声をかけ、子どもの不安をとってあげましょう。

②子どもを座らせ、頭を前に傾けましょう

のどに流れ込んだ血を飲むことで吐き気をもよおすことがあるので、口の中にたまった血は吐き出させましょう。寝かせたり、上を向けさせたりしないようにしましょう。

③鼻を押さえましょう

10分間、親指と人差し指で「小鼻」をしっかりつまんで押さえましょう。血が出ているほうだけを親指で押さえてもよいです。

④血が止まったか確認しましょう

押さえた指をゆっくり緩めましょう、血が出てこなければ大丈夫です。確認のために指やティッシュなどを入れてはいけません。

*10分間正しく押さえても血が止まらない場合

耳鼻科の受診をお勧めします。



伊藤先生コラム



こどもの発熱について

横手市内の保育園では、ノロウイルスなどの感染性胃腸炎が流行中です。また、RSウイルス感染のお子さんも出ており、今後RSウイルスによる気管支炎の流行が予想されます。発熱、咳、ゼーゼーの症状に注意しましょう。

小児は37.5度以上を微熱、38度以上を熱、38.5度以上を高熱と定義します。通常、発熱のみで脳に障害が起こることはなく、元気であれば、冷やして水分を多めに摂取させ、様子を見ましょう。生後3ヵ月以上で元気があり、水分を飲めれば通常の診療時間まで待てます。生後3ヵ月未満の発熱は重症細菌感染症の可能性があり救急受診の必要があります。また、ぐったりする、不機嫌、水分を飲めない、激しい頭痛、嘔吐、うとうとする場合は脱水、髄膜炎、脳症の可能性があり、救急受診しましょう。